



地域のチカラ

4

大学生による地域資源の探求と まちづくり活動「銀の馬車道」を舞台にして

兵庫県姫路市

銀の馬車道まちづくりラボラトリー

(兵庫県立大学環境人間学部・宇高ゼミ)

活動目的

兵庫県の中播磨地域では、明治時代に生野銀山と飾磨港を結んでいた「銀の馬車道」を南北交流のシンボルに掲げ、沿線の豊かな自然や歴史・文化などの資源を活用した地域の魅力とにぎわいづくりを目指しています。平成18年度より行政と各種団体、企業、学識者等が連携して「銀の馬車道プロジェクト」が展開されています。

「銀の馬車道まちづくりラボラトリー」は、このプロジェクトに当初から参画しています。活動では「銀の馬車道プロジェクト」の兵庫県中播磨県民センター、銀の馬車道ネットワーク協議会、沿線市町村の皆



銀の馬車道沿線地域(朝来市 生野町～姫路市内)

活動場所：銀の馬車道沿道

(出典：銀の馬車道ネットワーク協議会)

様にご協力をいただいております。大学生が学校で学んだ知識を実地に試み、長期的

な視点で活動することを目指しています。

この中で地域住民との協働の取り組みを通じて、若者の視点から沿線地域の魅力を高める歴史的遺産・特産物など地域資源の再発見や新たな価値付けを行っています。また地域資源の活用・PR方法を提言するほか、学生自らの手による活動を展開してきました。第2次「銀の馬車道」活用推進計画(H23～H27)の策定にも参画し、学生案を作成・提案しています。

近年はこれまでの成果を踏まえながら、「銀の馬車道」の「未来遺産」や「日本遺産」等への登録推進や地域資源の活用方法の検討に加え、但馬地域の「鉱石の道」と「銀の馬車道」の連携した取り組みにも参加しています。地域の遺産の価値付けにつ



いて学術的な研究活動を展開するなど、さらに広域的な活動に取り組むこととしており、今後も若者の行動力を活かした継続的な地域活性化に向けた取り組みを展開していきたいと考えています。

主な活動

- ・ 銀の馬車道沿道の地域資源を生かしたマップ、ムービー、ウェブサイトの作成
- ・ 銀の馬車道をテーマとしたフォトエッセ



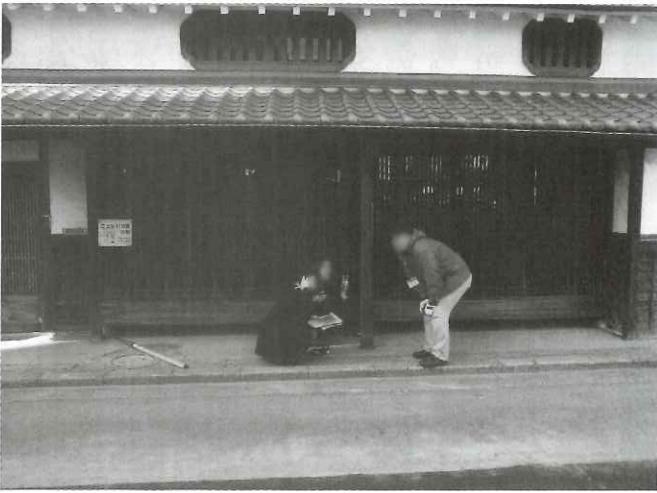
まちづくり＝地域住民のまちづくり活動支援（姫路市飾磨地区）

- ・ イコンテストの実施
- ・ 沿道の町並みを対象にした学術調査の実施とマップの作成
- ・ 銀の馬車と石見銀山街道の地域住民の交流など地域住民交流の促進

団体の概要

- ・ 銀の馬車道プロジェクトの今後の展開に向けたアイデアの学生案作成

今年度で活動開始以降14年目を迎えます



建築調査＝銀の馬車道沿道の現地調査（姫路市内）

す。メンバーは主に兵庫県立大学環境人間学部（宇高研究室）の学部生、大学院生で構成され、団体構成員数は延べ約90人です。平成18年度から「銀の馬車道探検隊」として活動を始めました。ホームページを開設し、イベントの開催や地域交流を行いました。平成21年度からは、より地域遺産に注目した活動を展開するため「銀の馬車道研究会」と改称し、銀の馬車道の歴史的資源の発見や、町並み調査を行いました。平成25年度からは「銀の馬車道ヘリテージネットワーク機構」、平成28年度からは「銀の馬車道まちづくりラボラトリー」へと展開し、過年度の活動成果を生かした地域での活動を進めています。

近年の主な活動記録

平成24年度

銀の馬車道PRポスターの作成、飾磨地区での町歩きとワークショップの実施

・ 平成18年度から、地域の皆様と協同し、銀の馬車道沿線の地域資源の把握や、歴史的遺産の活用方策の検討を行ってきました。平成23年度からは銀の馬車道をより広域的にPRするため、銀の馬車道沿線を守るJR播但線の各駅周辺の地域資



- ・ 生野銀山から生野駅までを歩き、生野に残される歴史的な町並みや生野銀山内の見学を行いました。
- ・ 飾磨地区では、公民館や学校で町歩きとワークショップを実施しました。過去の町歩きで作成した

源を題材にオリジナルポスターを作成し、駅のホームやコンコースに掲示しました。また、PRキャラクターも作成し、名前の公募を行いました。

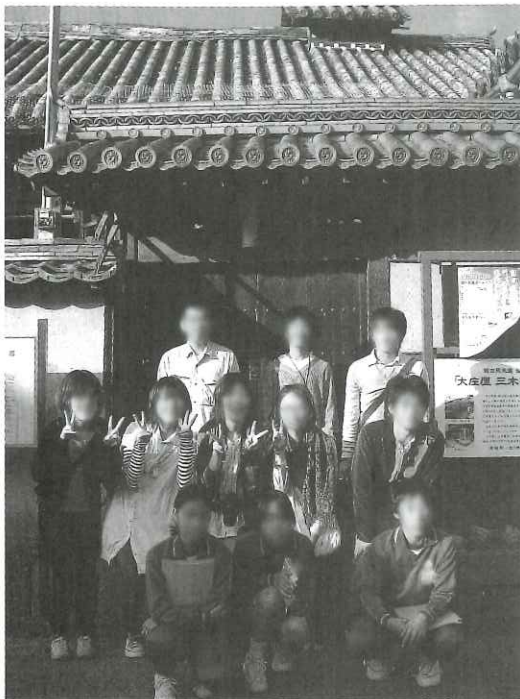
・ 銀の馬車道の終点である姫路市飾磨港地区において町歩きとワークショップを行い、歴史的な町並みと地域資源を整理したマップを作成しました。

平成25年度

生野地区・飾磨地区における町歩きとワークショップ、ラジオ出演

・ 銀の馬車道沿線の粟賀地区では、神河町にて、地区のまちづくりに関する意見交換を行いました。ここで

の意見と町歩きで発見した地域遺産をまとめた「粟賀マップ」を作成しました。



世代間交流＝沿道の中学校生徒との地域発見（福崎町）

「おさんぽマップ」をもとに、平成24年度は「食」をテーマに歩きました。飾磨の魅力再認識し、意見交換を行うことで次世代へ伝えるきっかけになればと考えました。また銀の馬車道研究会の活動を紹介するために、ラジオに出演し、活動内容を伝えることができました。

平成26年度

歴史的建造物調査の実施、飾磨地区まち歩きとワークショップ

・ 銀の馬車道の終着点である、飾磨地区に建つ赤レンガ倉庫の建物の建築調査と、建物の特徴の分析を行いました。



地域間交流＝石州街道銀の道の関係者との交流（広島県府中市）

・ 飾磨地区において「水辺の風景」から歴史を再認識、再発見するため町歩きとワークショップを実施しました。過年度の学生が作成したマップをもとに、今年度新たに得た情報を加えた飾磨地区のマップを作成しました。

・ 飾磨小学校にて、銀の馬車道探検隊、銀の馬車道研究会、銀の馬車道ヘリテージネットワーク機構での活動を報告するため、学生4名が発表を行いました。

今後は他の大学の学生も参加できるプログラムに成長させたいと思います。